



# 市議会だより



写真協力：宇治市

vol.174

2024. 9. 1

発行／宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747 (直)

編集／広報委員会

## contents

02 ◆ 6月定例会の概要

◆ 議事内容（抜粋）

◆ 永年在職議員表彰

03 ◆ 議決結果

04 ◆ 常任委員会の報告

08 ◆ 一般質問

14 ◆ 行政視察報告

15 ◆ 市民と議会のつどい

# ◆宇治市学校給食センター整備事業用地の財産取得 ◆再審法改正を求める意見書

可決

# ◆宇治市ケアラー支援条例制定を求める請願

採択

## 6月 定例会の 概要

6月定例会は6月13日から7月5日までの23日間の会期で開かれ、市から提出された「令和6年度宇治市一般会計補正予算（第1号）」をはじめとする18議案が可決・承認されました。また、「宇治市ケアラー支援条例制定を求める請願」が採択され、「再審法改正を求める意見書」が可決されました。（3面に議決結果を掲載）  
市政に関する一般質問は、6月20日、21日、24日の3日間にわたり、13人の議員が個人質問を行いました。（8～14面に掲載）

## 議事内容(抜粋)

### 可決 令和6年度 一般会計補正予算(第1号)

補正額は7億8123万円の増額で、予算総額は750億6123万円となる。物価高騰対策給付金の追加や新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に要する経費等を計上する。また、(仮)西小倉地域小中一貫校における体育館等空調設備の整備に要する経費の債務負担行為※を設定する。歳入では、国庫支出金、府支出金、繰越金、諸収入を計上している。

事業概要は以下のとおりである。

#### ●市有財産保全費追加

宇治矢落擁壁復旧工事による家屋等損傷に係る損害賠償

#### ●物価高騰対策給付金事業費追加

定額減税で引き切れない方への給付金の追加

<対象者数>

- ・当初予算(国試算) 36000人
- ・5月末時点 53000人
- ・差引 17000人

#### ●新型コロナウイルス感染症予防接種事業費

- ・ワクチン接種対象者  
65歳以上または60歳から64歳で重症化リスクの高い方
- ・接種開始時期 令和6年10月頃
- ・自己負担 2100円

#### ●巨椋池排水機場設備更新事業費

水位計・雨量計等の更新に係る設計経費

#### ●(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業(空調設備)に要する経費の債務負担行為の設定

(仮)西小倉小中一貫校における体育館等空調設備を整備

※債務負担行為：翌年度以降に債務を負担(支出)することが必要な事業について、あらかじめ予算として定めておくもの。

あきづきしんじ

## 秋月新治議員 逝去



宇治市議会議員秋月新治氏(享年73歳)が、令和6年7月19日にご逝去されました。

同氏は、平成24年12月宇治市議会議員に当選されて以来、連続4期にわたり、宇治市発展のためにご活躍されてきたところです。

市議会では、告別式に際し、松峯茂議長が弔辞を述べました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

## 委員会委員の変更

令和6年7月19日に日本維新の会宇治市議員団の会派が消滅したことにより、藤田智晴議員が、議会運営委員会委員及び広報委員会委員を辞任されました。

## 永年在職議員 表彰される

永年にわたり市政発展に努められた功績により、全国市議会議長会第100回定期総会において、次の議員が表彰され、6月定例会において表彰状等の伝達が行われました。

- 議員在職15年以上 真田 敦史 議員

# 6月定例会

# 議決結果

## ◆すべての会派が賛成した議案

議事内容 (注2)	
議案	議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定(委員会提案)
	令和6年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	令和6年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正<総務>
	水道事業給水条例の一部改正<建設・水道>
	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正<建設・水道>
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正<文教・福祉>
	宇治矢落擁壁復旧工事による家屋等損傷に関する和解及び損害賠償の額の決定(=その1)<総務>
	宇治矢落擁壁復旧工事による家屋等損傷に関する和解及び損害賠償の額の決定(=その2)<総務>
	専決処分の承認<総務>
	財産取得(=消防ポンプ自動車)<総務>
	財産取得(=高規格救急自動車)<総務>
	市道路線の認定<建設・水道>
	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その2)の請負契約の締結<文教・福祉>
請願	宇治市ケアラー支援条例制定を求める請願<文教・福祉>
意見書案	再審法改正を求める意見書

## ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成、×印=反対

議事内容 (注2)	議決結果	会派名						無会派
		未来	共産	自民	公明	宇治	維新	
議案	個人番号の利用に関する条例の一部改正<文教・福祉>	○	×	○	○	○	○	×
	市立学校設置に関する条例の一部改正<文教・福祉>	○	×	○	○	○	○	○
	財産取得(=学校給食センター整備事業用地)<文教・福祉>	○	×	○	○	○	○	○
意見書案	企業団体献金の全面禁止を含む政治資金規正法の抜本的改正を求める意見書	×	○	×	×	×	×	○
	地方自治法に新たに導入された指示権の撤回を求める意見書	×	○	×	×	×	×	○

## ◆選挙結果一覧

選挙	指名推選	淀川・木津川水防事務組合議会議員の選挙	辻 四一郎、辻 佳克、井内 英樹、江口 淳司
----	------	---------------------	------------------------

(注1) 議長のため決表に加わっていません。

(注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。 議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは直接審議。

※ 議事内容(抜粋)は2ページに掲載しています。

## 可決された意見書(要旨)

### 再審法改正を求める意見書

えん罪被害者を救済するための制度としては「再審」があるが、その手続を定めた法律(刑事訴訟法第四編「再審」)には、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられている。

その中でも、再審における証拠開示の問題は重要で、捜査機関の手元にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要であるが、現行法には明文の規定が存在せず、制度的保障はない。

しかも、再審開始決定がなされても、検察官が不服

申立てを行う事例が相次いでおり、えん罪被害者の速やかな救済が妨げられている。

よって、国におかれては、えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正するよう求める。

## 提出された請願

今定例会に提出された請願を所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

◆宇治市ケアラー支援条例制定を求める請願  
 (請願者) 加治屋 勝枝 ほか2名

◎全会一致で採択

## 総務

### 4月16日 中宇治地域市民協働推進拠点整備に向けた取組を報告

#### 市の説明

令和6年1月策定の基本ビジョンを踏まえ、市民参画・市民協働によるモデル的な取組やワークショップを実施し、具体的な機能や公民連携の可能性などの検討を深める中で中宇治地域市民協働推進拠点の整備構想を策定する。7月下旬から10月上旬までモデル事業の実施及び市民ワークショップを開催し、また、ワークショップでの意見を踏まえ、12月下旬まで公民連携の可能性調査に取り組む。

事業を進めるにあたっては、整備構想策定の支援業務を委託することとし、取組内容の公募型企画提案による募集を行う。

#### 委員からの質疑

**問**公募型企画提案の募集対象としては、どういうところを想定しているのか。

**答**コンサルティング企業、企画デザインなどノウハウを持った企業、NPO法人などの事例を把握しており、幅広く募集を行う。

**問**まちのリビングや市民協働の拠点といった漠然としたイメージが、今後、具体的な形となっていくのか。

**答**多世代の交流の場として、貸し部屋や子育て世代が憩う広場が必要なのかなど、内容については具体化を図っていききたい。

**問**どれくらいの規模、予算で新たな市民協働の拠点をつくろうとしているのか。

**答**現段階では未定であるが、公民連携可能性調査の中で具体的にしていく。

**問**菟道ふれあいセンター跡地については、県通りからいかに施設が見えるかが成功の明暗を分けると思うが、今の進捗は。

**答**メイン通りから入りやすい動線の確保は必要だと考える。道路幅員の拡幅ができるのか、今後調整していきたい。

**問**既成概念をなくし、新しい感覚で取り組む仕掛けが大事だ。宇治の良さを出せる建物を考えては。

**答**地域の方が自然と集まってにぎわいのある、魅力的な施設を目指し、民間の力も借りて、地域の皆さんと共に具体的な整備構想をまとめていきたい。

### 6月26日 宇治市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を審査

#### 市の説明

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令について非常勤消防団員等及び消防作業従事者等の損害補償に係る補償基礎額が改定され、令和6年2月9日に公布、4月1日に施行されたことに伴い、本条例の一部改正を行う。

消防団員や民間協力者等が災害現場で消防活動従事中に死亡、負傷または疾病にかかった場合の損害補償の算定の基礎となる消防作業従事者等に係る補償基礎額（消防団員の各階級及び勤務年数ごとに定められている）を改正し、最低額を8900円から9100円に増額改定する。

新条例は公布日から施行、令和6年4月1日から適用するものとし、受給者に不利益が生じることのない

よう、経過措置を設ける。なお、現時点において、本条例により損害補償を受給している方はいない。

#### 委員からの質疑

**問**近年、損害補償の適用者はいたのか。

**答**平成25年以降は、遺族補償年金並びに障害補償年金を支給した実績はないが、消防団員が活動中や消火に協力された方がけがをされ、療養補償を受けたケースがある。内訳は消防団員の負傷に伴う療養補償が1件で1名、民間の消火協力者の負傷に伴う療養補償が2件で2名、計3件で3名の実績がある。

#### 採決

全委員の賛成で可決すべきものと決した。



## 産業・人権環境

### 5月16日 宇治市文化センター開館40周年記念事業を報告

#### 市の説明

文化センターは開館40周年を契機とし、世代を超えてさらなる市の文化芸術の振興を図るため、令和6年7月24日に記念事業を実施する。

文化センター全体では施設内を周遊するクイズラリーを開催するほか、歴史資料館では約40年前の宇治の風景等の写真を展示し、中央図書館ではデビュー40周年を迎える作家など40年にちなんだ特集、中央公民館では若手落語家による落語会を開催する。また、小ホールではバンド演奏やダンス発表のほか、本市出身アーティストで市観光大使である宇治会のメンバー4名と高校生とのトークイベントを開催する。その他、会場では手作り工芸品の作品展示やマルシェなどを実施する。

なお、同日開催事業として、大ホールでは有料で宇治会が出演するフェスも開催する。



#### 委員からの質疑

**問**この記念事業を通じて市民にどのようなメッセージを伝え、どのような効果を期待しているのか。

**答**長い歴史とともに、市民に愛されてきた文化センターであり、若い方から高齢の方まで幅広く親んでもらえる施設であることをこの40周年を契機として知っていただき、文化芸術の振興を目指す。

**問**仕事をしている方などは参加しづらいと思うが、なぜ平日の9時から17時の時間帯で企画したのか。

**答**夏休みの期間中であることやトークイベントの出演者との日程調整の結果である。

**問**高齢者が文化センターの開催で困っているのは移動手段の確保である。今回は夏休み中の開催であり、ダンスの参加者や小さい子ども連れの方が駅から徒歩で参加することも想定され、熱中症などの危険がある。市のマイクロバスの活用など、参加者の移動手段の確保を前向きに検討すべきでは。

**答**限られた予算の中でできるかどうかを含めて、今後、検討していく。

### 6月28日 小倉エリアから広がるにぎわい創出事業の取組を報告

#### 市の説明

小倉エリアから広がるにぎわい創出事業として、小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を行う。

京都京阪バス宇治小倉線で、国庫補助金を活用したラッピングバスの実証運行（令和7年2月28日までの予定）を行い、今秋のニンテンドーミュージアム開館に合わせた市内の周遊観光の活性化を目指す。

また、利用促進策として、実証運行の開始に合わせて、スマートフォンのLINEアプリを活用した謎解きゲームを実施する。さらに、京都京阪バス宇治小倉線の利用を促進するため、バス事業者、市の観光施設とのお得なチケットの販売に向けた調整を行っている。



#### 委員からの質疑

**問**実証運行における予算の内訳は。

**答**紫式部ゆかりのまちのキービジュアルを使ったラッ

ピングを市の単費で行い、その費用は572万円となっている。実証運行に係る部分については3分の2が国の補助で、3分の1はバス事業者の負担となる。

**問**実証運行は市民の移動手段としても利用可能で地域交通のさらなる充実につながるとのことだが、市民には使いにくい時間帯でバス停留所も少ないと感じるが。

**答**バス停留所の追加設置が必要な場合はバス事業者に伝える。

**問**実証運行終了後、引き続き同路線を継続するとなったとき、市はバス事業者に補助金を出す考えはあるか。

**答**継続するかどうかは、どの程度採算が取れるかということも重要となる。バス事業者、交通部局と協議し判断する。

**問**観光部局では実証運行など前向きな話を聞くが、交通部局ではバスの乗客数が少なく減便したなどの話を聞く。両部局が密に連携して取り組むべきと考えるがどうか。

**答**市民の移動手段と観光振興の両面から行政が支援すべき公益性があるかどうかを判断しながら、両部局が連携する中で総合的に実証運行の結果を見極めたい。

## 建設・水道

### 7月1日 トンネル放流による道路法面崩落箇所等の本復旧工事の完了を報告

#### 市の説明

令和5年5月に天ヶ瀬ダムトンネル式放流設備からの放流により天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸の道路法面崩落等が発生したため、国が設置した天ヶ瀬ダム放流調査委員会が2回にわたって開催され、被災要因の分析、対策工事の選定、放流方法の検証が行われた。その結果を踏まえ、令和5年12月から道路法面崩落箇所及び祠付近着水箇所の本復旧工事に着手され、6月14日に完了した。

ダム放流の運用は、全ての本復旧工事が完了するまではコンジットゲートの放流を優先し、必要な放流量を確保できない場合だけ、トンネル式放流設備から放流する現在の運用を継続すると説明を受けている。

#### 委員からの質疑

**問** 今後大量の雨が降ってトンネルからの放流をせざるを得ないような状況になった場合、道路法面崩落箇所の直下流、白虹橋付近河岸洗掘箇所の工事が完了していなくても安全は確保できるのか。

**答** 道路法面崩落箇所は洗掘や吸い出しに耐え得る堅固な構造で、祠付近の着水箇所は天ヶ瀬ダムからの流水が駆け上がらない構造で対策を講じている。また、指摘の箇所は崩落発生場所ではなく、直ちに対策が必要ではないことから、今回の復旧対策の完了によりトンネル等の放流をしても問題はないと考えている。

**問** 全ての復旧が完了した後は、ダム本体のコンジットゲートとトンネル式放流設備の放流を併用して放流するのか。本体から900トン流して水位が上がっていると600トンを横（トンネル）から流すのは危険ではないのか。

**答** まず本体から下流に向けての流れをつくり、その後トンネル放流をするため、基本的には対岸の跳ね上がりは抑えられると国から聞いている。

**問** 白虹橋の下流から上流部分にわたる安全対策をどうしていくのか地元も危惧している。地元との今後の協議の予定は。

**答** 国と志津川区との調整が十分に行われるよう市として働きかけていく。

### 7月1日 宇治東山市営住宅等建替基本構想・基本計画(案)を報告

#### 市の説明

宇治東山市営住宅は建て替え候補地の決定を踏まえ、建物配置等の検討を進めてきた。市営住宅の入居者、青少年センター・保育所を利用される保護者等の意見を踏まえ、このたび、「宇治東山市営住宅等建替基本構想・基本計画」(案)を取りまとめた。

計画(案)では、宇治東山市営住宅が傾斜地に立地、老朽化が進行している現状と課題をはじめ、建て替え候補地を善法青少年センター及び善法保育所の敷地と決定するまでの流れ、3施設を整備するにあたっての各施設の現状や課題、コンセプトなどを示している。

事業が順調に進捗すれば、合築施設は令和10年度末の完成、青少年センターと保育所の全てが完成するのが令和13年度中、市営住宅は令和14年度末の完成を見込んでいる。

#### 委員からの質疑

**問** 現時点での、青少年センターと保育所を合築施設に

することによる懸念点は。

**答** 限られた敷地での整備となるため、利用者同士や車と歩行者の動線分離が大きな課題だが、うまく分離できる配置計画、レイアウトが検討できている。

**問** 市営住宅は既に45年を経過した中で、9年近くかかる工程の間も現在の場所に居住することになるが、安全面は大丈夫なのか。

**答** 耐用年限を過ぎたら直ちに使用できなくなるものではない。個々の状況に応じた必要な修繕は継続して実施していく。

**問** 保育所では園庭が使用できない時期があるが、対応は。

**答** 詳しくは現段階では未定だが、子どもの安全を確保しながら、可能な限り保育の質を維持できるよう今後も検討する。

**問** 20数億円もの予算計上を見込んでおり、費用対効果について市民理解が得られる説明が必要では。

**答** 基本構想・基本計画と順次検討を重ねながら、検討委員会を立ち上げて議会へ報告もしながら進めてきた。

## 文教・福祉

### 5月15日 学校給食センターの進捗状況について報告

#### 市の説明

令和8年度からの中学校給食の提供に向けて、現在、学校給食センターの用地取得の事務を進めている。見積もり合わせによる処分価格の決定手続を経て申請書を提出し、国が最終的な売却事務手続を行っているところである。

用地は宇治市五ヶ庄三番割25番38、面積は7906.63㎡で、見積もり合わせの額は1億6355万7000円で決定した。なお、予算額は5億2800万円であったが、5回の見積もり合わせが可能であり、想定額の低い順に見積書を提出し、落札できたもの。議決後は、造成工事前の準備工事に速やかに着手する予定である。

#### 委員からの質疑

**問** 予算額と落札額にこれだけの隔たりがある予算の立て方はどうなのか。

**答** 予算は近傍地の地価評価額を参考に平米単価を設定

し、予定購入面積から設定した。国の予定価格は非公表であるが、学校給食施設であることから特別措置法により24.5%減額して売却するという国からの通知や不動産鑑定の実施、市街化調整区域であることなどから金額を設定し、低い額から応札した結果である。

**問** 予算の残額は執行しないという認識でよいか。

**答** そのとおりである。

**問** 2回目の見積もり合わせで落札となったことから、給食の配膳方法などの準備を早めに行い、安全かつ安心な給食ができるよう時間を有効活用してほしいが。

**答** 配膳も含めた運用面に重きを置きながらできるだけ早めに決定し、各学校との連携を進めていきたい。

**問** かつて黄檗の火薬庫があった場所だが、取得後に埋設物などが出てきた場合は、国が責任を持って撤去する契約になっているのか。

**答** 地下埋設物の撤去費用としての見積額である2090万円を上回る場合は、財務省で審査され、その額を精算する調整制度がある。

### 6月27日 令和6年度の宇治市総合福祉会館の大規模改修を報告

#### 市の説明

宇治市総合福祉会館は築40年を迎え、施設全体の老朽化と現在の施設利用上の課題解消を行い、将来にわたって福祉の総合拠点となるよう大規模改修を行う。

改修工事期間は令和6年7月から令和7年2月の予定で、主な改修内容は、便器の洋式化や多目的トイレの設置、浴室・脱衣室等を廃止し多目的スペース・シャワー室等への変更、二足制から一足制への変更等に伴うホール部分の床の改修などである。工事期間中は貸館停止となるため、各団体活動場所の確保として福祉会館3階の大広間を開放するとともに、市内公共施設や宇治妙楽のコミュニティスペース（有料）の利用を案内している。介護予防拠点施設は5つの民間施設と調整し、予約のうえ利用が可能である。

#### 委員からの質疑

**問** 福祉会館3階大広間は裏階段で上がる必要があることやトイレが使えない制約がある。どのように説明しているのか。

**答** 裏階段の利用が貸出条件となり、トイレは隣の産業

会館や市役所の利用を案内している。

**問** 社会福祉協議会の事務所は市役所2階とうじ安心館3階、福祉会館3階に分かれて移動し事務が継続されるが、その割り振りは。

**答** 市役所2階では生活相談やボランティアなどの相談窓口を、うじ安心館3階では年金や法律などの専門相談窓口を、福祉会館3階では同会館の管理業務を行う。

**問** 社会福祉協議会の事務所移動の案内は広く市民に知らせるべきでは。

**答** 社協のホームページに紹介されているが、市のホームページにも掲載し、他の案内方法も検討する。

**問** 福祉会館の駐車場は普段から利用が多いが、工事中も利用できるのか。

**答** 現時点では、福祉会館の駐車場は使えない予定である。

**問** 今の相談室はパーティションで区切られたものだが、新しい相談室はプライバシーに十分配慮したものか。

**答** ドアで区切られた防音性のある相談室を設置する。

# 一般質問

## 自民党議員団

きもと ひろあき  
**木本 裕章** 議員



### 中宇治地域市民協働推進拠点の整備構想の策定に向けた議論の進め方は

**答弁** ワークショップなどを実施し、共同企業体と連携しながら新たな手法で進めていきたい

**問**今年の1月に中宇治地域市民協働推進拠点の基本ビジョンを策定した際には、計4回のワークショップが開催された。この手法を大変高く評価している。今年度に策定する中宇治地域市民協働推進拠点の整備構想の策定支援は、一般社団法人と株式会社の共同企業体に委託されるが、市民参画・市民協働の取組をノウハウのある事業者とともに進めるには工夫が必要であると考えますが、市の考えは。

**答【市長】**市民協働推進拠点は構想段階から地域の方と共につくり上げていくことが重要であり、7月から市民参画による整備後の活動を想定したモデル事業や

市民ワークショップを実施する。共同企業体と連携しながら新たな手法で整備構想の策定を進めていきたいと考えている。

### 小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組状況は

**答弁** 周遊性向上に向けた取組を進めている

**問**従来から市の観光は中宇治エリアが中心であったが、今年度は市内の周遊観光活性化のため、小倉地域と中宇治地域をつなぐ取組を実施するための予算化がされている。ニンテンドーミュージアムの開館も迫ってきているが、現在の取組状況は。

**答【市長】**現在、JRと近鉄の両小倉駅間を誘導する歩行空間のカラー化や観光案内サインの設置など、周遊性向上に向けた取組を進めている。また、小倉地域と中宇治地域を結ぶバス路線の認可手続きが完了し、実証運行が行われる予定で、地域公共交通のさらなる充実につながると考えている。さらに、LINEアプリを活用した謎解きゲームや観光ガイドマップの作成などにも取り組み、にぎわいの創出につなげていく。

## 京都宇治党・蒼の会議員団

かせ きょうこ  
**加勢 京子** 議員



### いじめ問題に対応できる監察課を設置すべき

**答弁** 教育の独立性を担保する観点から、まずは現行体制の中で取り組む

**問**令和4年度に市立小学校で発生したいじめ重大事態が委員会では報告された。保護者からいじめの訴えがあったが、学校は当初悪ふざけと認識し、初動対応が遅れた。現状の仕組みでは問題が解決されないのではと不安を感じる。新たに市長部局が第三者の視点でいじめ問題に直接対応できる監察課を設置すべきでは。

**答【人権環境部長】**学校現場で発生した事象の対応は教育の独立性を担保する観点から行政の直接的な関わりは慎重であるべきと考えている。今後も、市長部局はいじめ防止等に必要の施策を総合的に推進し、まずは現行体制の中で市、市教委、学校の連携を深め、子

どもの人権が尊重される社会実現に向けて取り組む。

### AIを活用したコミュニティバスの導入を

**答弁** 公共交通に限らない移動手段の促進も含め、幅広く検討を進めている

**問**奈良県広陵町はAIによる予約状況に応じた最短経路の構築や、乗り合い予約の専用アプリを活用したコミュニティバスを導入しているが、市の考えは。

**答【都市整備部長】**将来の移動手段のあり方検討費において、これまで進めてきた公共交通に限らない移動手段の促進も含め、現在幅広く検討を進めている。

**問**公共交通に恵まれた都市であると市は言うが、地域を走る民間バス路線の減便・廃止等で山間部や丘陵地に住む市民から生活しづらいという声を聞く。新たな交通手段を早急に考え、取り組むべきでは。

**答【同部長】**明星町地区のりあい交通事業や槇島町紫ヶ丘地域で病院送迎バスを活用した高齢者買物移動支援事業など地域のニーズに合わせた公共交通に限らない移動手段も進めてきた。市民・事業者と協働して持続可能な移動手段となるよう検討を進めている。

## 日本維新の会議員団

ふじ た とも はる  
**藤田 智晴** 議員



### 障害者の活躍を促す農福連携を積極的に推進すべき

**答弁** 宇治市障害者福祉基本計画に位置付けており、連携が広がるよう取り組む

**問** 農業分野における障害者の活躍を促す農福連携が、障害者就労継続支援施設の工賃向上に向けた新たな取組として期待されている。静岡県葵区の茶業協同組合では地元の福祉事業所から人手を提供してもらい、栽培や収穫作業を行っており、この取組が本市でも喫緊の課題である茶業の担い手不足の解消に寄与すると考える。障害者の工賃向上と社会参加の促進につながる農福連携の取組を拡大し積極的に推進すべきと考えるがどうか。

**答** 【福祉こども部長】 令和6年3月に策定した第3期宇治市障害者福祉基本計画において、農業・産業分野

との連携を計画に位置付けた。市としても自立支援協議会等で、就労支援事業所の方々と農業との連携について研究するほか、農家とのマッチングなどの情報共有に取り組んでいる。今後も農業と障害者施設との連携が広がるよう取り組む。

### 児童・生徒の通学時の重い荷物への対策は

**答弁** 子どもたちの健康上の観点から考慮するよう学校に周知する

**問** 児童・生徒の通学荷物が重過ぎることは、文部科学省も問題と認識しているが効果的な解決には至っていない。発育途中の子どもたちが過度に重い荷物を持つことは健康上のリスクを引き起こす可能性がある指摘されているが、どのように考えるか。

**答** 【教育部長】 教科書や教材などの携行品が登下校時の負担にならないように、家庭学習で使用予定のない教科書等は学校に置いて帰ることや、携行品が特定の日に偏らないよう計画的に持ち帰るようにしている。市教委として、子どもたちの健康上の観点から考慮した持ち帰りをすすめるよう学校へ周知していく。

## 共産党議員団

さか もと ゆう こ  
**坂本 優子** 議員



### 公民館の日曜日開館・登録制廃止・有料化の検討結果は

**答弁** 運営方法は可能な限り早急に方向性を示す

**問** 「生涯学習の推進に向けて（案）」では、教育法体系の中に位置づけられている公民館も市の公共施設の一施設としている。市教委の公民館の役割、位置づけに対する見解が変わったのか。

**答** 【教育部長】 社会教育法の規定に基づき、市民が集い学ぶ場として機能する施設であると認識している。

**問** 公民館の課題解決に向け、日曜日開館の検討、サークル登録制の廃止、有料化とあるがその検討結果は。

**答** 【同部長】 より多くの市民が気軽に利用できる仕組みを考え、運営方法は可能な限り早急に方向性を示す。

**問** 菟道ふれあいセンター敷地に官民協働で整備する、

中宇治地域市民協働推進拠点が新たな学びの場になるとして宇治公民館を再建しないと言うが、市民が学び、地域に還元して課題を解決していく要になるのが公民館なのではないか。

### 特別な配慮を要する子への支援は

**答弁** 保育士等の人材育成と切れ目のない支援のため移行支援シートの様式統一化を検討

**問** (仮称) 乳幼児教育・保育支援センター創設に向けた検討事項に、特別な配慮を要する子どもへの切れ目のない支援を挙げているが、同センターの設置目的は。

**答** 【福祉こども部長】 保育士等の人材育成を図り、教育・保育の質の向上に資することを目的としている。

**問** 具体的施策として、専門職による園訪問と発達・子育て支援の移行支援シートの活用の取組がある。シートは重要な子どもの記録で、30歳までつなげている日野市の事例もあるが、本市はなぜ小学校までなのか。

**答** 【同部長】 小・中学校では従前から切れ目のない支援を行っており、シートがより有効に活用されるよう様式の統一化を検討している。

# 一般質問

## 公明党議員団

にし かわ み よ こ  
**西川 美代子** 議員



### 行政窓口における難聴者等の支援を

**答弁** 関係者から意見を聞き具体化したい

**問**行政窓口で、難聴者やコミュニケーションが取りづらい方への対応として絵カードやコミュニケーションボードの導入の検討について要望してきたが、その進捗状況は。

**答【福祉こども部長】** 他自治体の活用例を参考に検討を進めている。関係者から意見を聞き具体化したい。

**問**我が国独自の技術である軟骨伝導イヤホンは、骨伝導と比べて音が柔らかく聞こえ、耳の穴を塞ぐこともなく、雑音を取り除く機能があり音漏れもない。小さな声もよく聞こえ、他市や金融機関窓口で使われているが、新しいコミュニケーションツールとして、本市

も周知、検討してみてはどうか。

**答【同部長】** 新しい支援機器の情報収集を行っているところであり、他自治体の活用例等を研究していく。

### 介護業界の人材不足解消 市の対策は

**答弁** 協議会と協働して課題に取り組み、介護保険制度を持続可能なものとしていく

**問**介護業界は要介護者の増加、老老介護、認知介護、ヤングケアラー、財源不足など、幾つかの課題を抱えている。中でも人材不足は深刻だ。人材不足解消に向けた市の考えとその対策は。

**答【市長】** 新規事業として介護支援専門員の資格取得対策講座を実施する。また、夏頃には福祉サービス公社が発起人の一つとなり、高齢者福祉を担う社会福祉法人が高齢者福祉事業者と協議会を結成し、本市と協働する中で、福祉介護職の魅力発信、人材確保や定着、育成支援、職場環境の改善など、高齢者福祉を取り巻く課題に取り組みされる予定だ。人材確保を図ることにより介護保険制度を持続可能なものとし、住み慣れた地域でその人らしく生活ができるよう努めていく。

## 共産党議員団

とく なが み き  
**徳永 未来** 議員



### 全ての小・中学校に不登校児童支援員の配置を

**答弁** 配置した小学校の状況を把握し、その効果、課題を検証する

**問**今年度から中学校ブロックごとの小学校に1校ずつ、計10校に不登校児童支援員が配置されているが、勤務時間が18時間、週4日程度の午前中のみで、毎日別室登校している児童には支援の時間が足りない。常に配置できるよう時間延長できる予算計上すべきでは。

**答【教育部長】** まずは現在の配置時間でしっかりと支援に取り組み、その効果と課題を検証する。

**問**学校間で格差が生じているが、支援員が配置された小学校に、配置されていない小学校の児童が通うことはできるのか。

**答【同部長】** 所属する小学校に通うことが原則で、異

なる学校に通うということは基本的にはない。

**問**全ての小・中学校に支援員を増やしていくのか。

**答【同部長】** 別室での支援運営は、中学校に知識や経験があり、小・中連携を行う中で、その知見が広がることを考慮して配置している。支援員を配置した小学校の状況を把握し、その効果と課題を検証していく。

### U j i ふれあい教室 通いやすいように拠点を増やすべき

**答弁** 通いやすい場所や効果的かつ寄り添った取組について引き続き検討する

**問**学校に通うことができない児童・生徒への支援はまだ不足している。U j i ふれあい教室<sup>\*</sup>は生涯学習センターのみで行われており、子どもたちの学びや社会とのつながりのためにも、通いやすいよう拠点を増やすべきでは。

**答【教育部長】** 通いやすい場所や支援体制、活動に適した環境など、効果的かつ不登校児童・生徒に寄り添った取組を引き続き検討していく。

**問**不登校児童・生徒は増加傾向にある。早急に検討を進めるべきだ。

<sup>\*</sup>U j i ふれあい教室：不登校児童生徒自立支援教室

## 共産党議員団

おお かわ なお ゆき  
**大河 直幸** 議員



### 買い物や通院が不便な地域に 予約制乗り合いタクシーを

**答弁** 将来の移動手段のあり方検討費で幅広く検討している

**問**本市には買い物や通院が不便な地域がある。伊勢田には比較的診療所が少ないが、大久保には病院や診療所が一定数ある。大久保にはスーパーマーケットがないが、伊勢田には複数ある。こういった一定の地域を限定して、自由に移動できる予約乗合制のデマンドタクシーを走らせれば市民の利便性は高まるのでは。

**答【都市整備部長】**他の市町村で実施されているデマンド交通のような、目的や行き先が同一でない方が乗り合う移動手段は、地域の特徴を踏まえて検討されたものであり、本市でも当初予算の将来の移動手段のあり方検討費で幅広く検討をしている。

## うじ未来

かど や よう へい  
**角谷 陽平** 議員



### 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ 接種未接種者への啓発、勧奨を

**答弁** 約6500人に対し、6月中に個別通知を行う予定

**問**子宮頸がんに対して高い予防効果が期待できるワクチン接種は、マスコミの副反応過剰報道と、それを受けた国の積極的勧奨の差し控えの影響がまだ接種率の低迷につながっている。国によるキャッチアップ接種<sup>\*</sup>は今年度末に終了予定で、未接種者に対する啓発、勧奨が急務だ。市は今後どう取り組んでいくのか。

**答【健康長寿部長】**キャッチアップ接種の未接種者及び高校2年生相当の接種未完了者、合わせて約6500人に対し、6月中に個別通知を行う予定だ。さらなる接種率向上に向け、引き続き取り組んでいく。

**問**我が国の女性人口が約6500万人で子宮頸がんにより毎年約3000人が亡くなっている。ワクチンに

**問**本市は観光に関しての移動手段の導入には熱心だ。観光地以外の住民の移動手段の確保についても、検討を繰り返すだけでなく、決断をして実証運行など取り組むべきだがどうか。

**答【市長】**公共交通の利用を大前提に、地域の移動手段の先進的な事例やこれまで取り組んできたことも含めて検討しており、観光部分に特化した検討ではない。

### 遠足場所として適切でない万博に 行くべきではない

**答弁** 安全性についてはまだまだ情報不足だが、貴重な機会であり推奨する

**問**大阪・関西万博会場の安全なのか市教委の見解は。

**答【教育部長】**万博会場でガス爆発が起こったことは承知している。市教委として、現段階で詳細な情報を持ち合わせておらず、お答えすることは非常に困難。

**問**万博会場は遠足場所として適切なのか。市教委は万博に行くべきでないと各校に伝えるべきではないか。

**答【教育部長】**安全性についてはまだまだ情報不足のところもあるが、大阪・関西万博は将来を担う子どもたちにとって貴重な機会で、推奨するべきと考えている。

よる予防効果がかかなり期待できる疾患であるにもかかわらず、今後、毎年5000人を超える死亡者数が予測されている現状は憂慮すべき事態だ。ワクチンの情報発信の考えは。

**答【同部長】**市政だよりや市公式インスタグラムをはじめとするSNSでの発信など、がん検診の受診率向上に向けた積極的な取組を引き続き行っていく。

### リチウムイオン電池廃棄の方策は

**答弁** 小型家電回収箱の設置箇所拡大等を実施し、より安全で利便性の高い回収方法を検討する

**問**分別されずに廃棄されたリチウムイオン電池や充電機能のある小型家電が収集され、全国各地でパッカー車や処分場から火災が発生し、大変な損害が生じている。リチウムイオン電池による火災を抑制する方策は。

**答【人権環境部長】**廃棄方法の周知啓発や小型家電回収箱の設置箇所拡大等を実施するとともに、他の自治体の動向や取組を研究し、より安全で利便性の高い効果的な回収方法を検討していく。

<sup>\*</sup>キャッチアップ接種：定期接種の対象年齢（小学校6年から高校1年相当）の間に接種機会を逃した方のための接種。

# 一般質問

## うじ未来

にし かわ とも やす  
**西川 友康** 議員



### 自宅避難時における、し尿の処理対策は

**答弁** 防災出前講座などでし尿の処理方法を周知啓発していく

**問** 大規模災害時には、自宅避難を余儀なくされ、断水、停電、下水処理施設の破損等により自宅の水洗トイレが使用できない可能性がある。携帯トイレや簡易トイレの備蓄が必要だが、自宅などで長時間し尿を置いておくのは非常に不衛生で、感染症にかかるリスクが高くなる。し尿の処理対策について市の考えは。

**答** 【危機管理監】 これまでからも防災出前講座などで、自宅で避難される方のし尿の処理方法は、凝固剤などを使用し、一般ごみとして処理するよう周知している。災害時に発生する廃棄物の処理などについて、改めてしっかり周知啓発するとともに、災害発生時には、宇

## 自民党議員団

にし かわ やす し  
**西川 康史** 議員



### 公共交通の利用が不便な地域への対策は

**答弁** 将来の移動手段のあり方検討費を活用して新たな取組に向けて検討する

**問** 明星町地区のりあい交通事業など、さまざまな交通政策に取り組んでいるが、公共交通の利用が不便な地域へのさらなる対策が必要である。どのような視点で検討するのか。

**答** 【市長】 今年度はさらに幅広く検討するため、将来の移動手段のあり方検討費の予算を計上した。地域ごとの特徴や求められるニーズを整理した上で、本市の恵まれた既存公共交通との共存、また、どのようなサービスが有効で持続可能かなど、部局横断的に協議し新たな取組に向けて検討していく。

**問** 全市的に新たな移動手段を検討するには課題が多い。

治市地域防災計画及び宇治市災害廃棄物処理計画に基づき適切に処理したいと考えている。

### 高齢者が安心して健康に暮らすための取組は

**答弁** 高齢者が活躍できる社会参加の場や通いの場を立ち上げる取組を推進する

**問** 一人暮らしの高齢者が安心して健康に暮らすためには、地域やサークル活動等の団体を通じた人と人とのつながりが大変重要である。高齢者の町内会脱会やコロナの影響によるサークル活動の中止などで人との関わりが減っている中、高齢者が新たにつながりをつくるきっかけとなるよう、市は「生きがい探しのすすめ」という冊子を作成し配布したが、その効果と今後の取組は。

**答** 【健康長寿部長】 「生きがい探しのすすめ」に掲載した団体等への参加希望の問合せが多く、社会参加を促す効果があったと考えている。今後も、高齢者が活躍できる社会参加の場や通いの場を立ち上げる取組を推進するとともに、社会参加を促すよう情報発信にも取り組んでいきたい。

安田町の新たな産業立地が完成すると移動手段が必要となる。まずエリアを限定して実証運行から取り組むべきではないか。

**答** 【都市整備部長】 エリアを限定した実証運行などを含め、幅広く検討する。

### 年末年始等の学校開放の手段として警備会社の活用を

**答弁** 教職員の負担や他市の状況等を踏まえて総合的に検討する

**問** 身近な場所でスポーツができることはスポーツの振興に効果的であり、学校教育に支障のない範囲で学校施設を市民が利用できる学校開放事業は有益である。同事業は教職員や育友会の役員などで構成する開放運営委員会に委託されているため、特にお盆や年末年始の開放に学校間で異なる運営が見られ、不公平感を感じる。お盆や年末年始の開放を求める声もあり、同委員会への負担を増やさず開放する手段として、警備会社を活用するなど、統一したルールを示すべきでは。

**答** 【教育部長】 教職員の負担や他市の運営方法、市内の公共施設の状況などを含め、総合的に検討する。

## 共産党議員団

たに がみ はる ひこ  
**谷上 晴彦** 議員



地方自治法に新たな指示権 自治の基本理念を覆す法の一部改定は撤回を求めるべき

**答弁** 国の動向を注視する

**問**地方自治法の一部改定が強行された。これは災害対策基本法や感染症法のような個別法がなくても、国が自治体に自治事務であっても指示ができるというもの。国と地方は対等とする自治の基本理念を覆すもので、撤回を求めるべきと考えるが市長の見解は。

**答**【政策企画部長】国会論議の上で成立した。直ちに撤回を求めるものではない。国の動向を注視したい。

**問**市長が答弁しないのは残念だ。戦前、自治体が戦争の一翼を担わされた反省から地方自治が戦後の憲法に明記された。戦争できる国づくりを止めるためにも地方自治を守るための行動を求める。

## 公明党議員団

いな よし みち お  
**稲吉 道夫** 議員



小倉のまちなぎにぎわいに期待

**答弁** 商店街等が実施する取組は、しっかりサポートしていく

**問**近鉄小倉駅西側は第1自転車等駐車場や暫定広場が供用開始され、駅東側ではニンテンドーミュージアムのオープンに向けた準備が進み、これからの小倉のまちなぎにぎわいに期待する。今後、訪れる国内外の多くの観光客を飲食店街へ誘導する仕掛けづくりが商店街の振興や小倉エリアの活性化につながると考えるが。

**答**【産業観光部長】店舗利用の喚起等を目的とした多言語対応デジタルマップのバージョンアップや小倉を中心とした歴史や文化、店舗の魅力を掲載した観光ガイドの作成を進め、また、暫定駅前広場を活用したイベントなど、商店街等が実施する取組は補助金等によ

低所得世帯へエアコン設置費の補助制度を

**答弁** 国や他の自治体の動きを注視する

**問**本市の昨年の熱中症及び熱中症の疑いによる緊急搬送の人数と、そのうち高齢者の状況は。

**答**【消防長】搬送人数は300人で、うち高齢者は197人。屋内では151人で、うち高齢者は101人。

**問**熱中症の発生場所の50%が屋内で、対策に国は「エアコンを上手に使いましょう」と呼びかけているが、これはエアコンがある前提の呼びかけだ。市は高齢者世帯や低所得世帯の設置状況を把握しているのか。

**答**【福祉子ども部長】生活保護世帯では97%の世帯が設置し、未設置の残り3%は約60世帯となる。

**問**生活保護世帯を含む低所得世帯の方に対して、エアコン設置費の補助制度が必要ではないか。

**答**【同部長】補助制度は資産形成に資する側面があり、慎重な検討が必要。国や他自治体の動きを注視したい。

**問**補助制度は資産形成ではなく命を守る福祉制度だ。全国の自治体で多数の事例がある。早期実現を求める。

る支援を行うなど、しっかりとサポートしていく。

**問**地元要望の多い近鉄小倉駅の跨線自由通路の状況は。

**答**【都市整備部長】近鉄とも情報共有しながら、基本計画の中で取りまとめたい。

西宇治公園の今後の在り方は

**答弁** 幅広くさまざまな方から意見を聞き、方向性を取りまとめる

**問**令和5年12月に西小倉地域小学校跡地に関する基本的な活用方針が取りまとめられた。北小倉小学校跡地はスポーツ・遊びの場とし、隣接する西宇治公園との連携も視野に入れると示されているが、今後の西宇治公園の在り方について考えは。

**答**【市長】西宇治公園では子どもが伸び伸びと安心して遊べる体育館や本市で初めてとなるインクルーシブ遊具の導入など、さまざまな子どもたちが一緒に楽しく遊ぶことができる公園として、新たな魅力の創出に取り組んでいる。北小倉小学校跡地との連携は、審議会をはじめ幅広くさまざまな方から意見を聞き、年度内を目途に方向性を取りまとめる。

# 一般質問

## 共産党議員団

みやもと しげお  
**宮本 繁夫** 議員



### 堀池貯留管整備工事の再開、完成はいつか

**答弁** できるだけ早い完成を目指して取り組んでいく

**問**西小倉地域の水害対策として、堀池貯留管整備工事が2020年10月から約11億円余りの事業予算で行われているが、昨年4月、貯留管の埋設工事中に推進機械が府の流域下水道に接触したため工事が中断し、設計変更を余儀なくされた。今年も梅雨の時期を迎えるが、工事の再開、完成はいつになるのか。

**答**【建設部長】現在、工事再開に向けた設計業務を本年7月末の完了を目途に進めている。工事再開に向けては、設計完了後、工事費用の算出や関係機関との調整に相当の時間を要する。工事期間は、再開後おおむね1年を見込んでいく。

**問**着工後、完成に1年かかるとのことだが、再来年の梅雨には間に合うのか。

**答**【同部長】工事の中断により地域の治水対策に遅れが生じていることについては市として重く受け止めている。来年の梅雨には間に合わないが、できるだけ早い完成を目指して取り組んでいく。

### 西小倉地域の3小学校は廃校後も避難所として活用すべき

**答弁** 具体的な活用方法が決まるまでは、避難場所等として活用したい

**問**西小倉地域の3小学校が統廃合され廃校になると、避難所がなくなるのではないかと地元では心配の声がある。小学校の校舎は耐震改修され、教室にはエアコンも設置されており、トイレも改修済みだ。廃校後も災害時の避難所として活用すべきだ。

**答**【危機管理監】3小学校の跡地については、西小倉地域小学校跡地に関する基本的な活用方針に示す方向性の実現に向けて検討中だが、具体的な活用方法が決まるまでは、現在と同様に避難場所等として活用したいと考えている。

## 常任委員会行政視察報告

### 産業・人権環境常任委員会

日程：5月7日～9日



- ◆視察先・視察項目【茨城県つくば市】
- つくばスタートアップパークに係る取組について【東京都町田市】
- 町田市バイオエネルギーセンターについて【埼玉県川越市】
- 川越市観光振興計画について

### 建設・水道常任委員会

日程：5月20日～21日



- ◆視察先・視察項目【神奈川県川崎市】
- 自動運転バスの実証実験運行について【愛知県豊橋市】
- 上下水道に係るスマートメーターについて

### 文教・福祉常任委員会

日程：5月21日～22日



- ◆視察先・視察項目【高知県高知市】
- 保幼小連携・接続の取組について【高知県】
- 高知家健康パスポートについて

### 総務常任委員会

日程：5月23日～24日



- ◆視察先・視察項目【広島県広島市】
- 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興について【広島県呉市】
- ゆめづくり地域協働プログラムについて

## 第8回「市民と議会のつどい」を開催

令和6年5月18日・19日の2日間にわたり開催いたしました「市民と議会のつどい」の当日の様子、アンケート結果やいただいたご意見についてお知らせいたします。

### 災害に強いまちづくりについて

(担当：総務常任委員会)



参加人数 34人

### 宇治の福祉・教育について

(担当：文教・福祉常任委員会)



参加人数 38人

### どうやって宇治でゼロカーボンシティを実現するのか

(担当：産業・人権環境常任委員会)



参加人数 30人

### 都市公園のあり方について

(担当：建設・水道常任委員会)



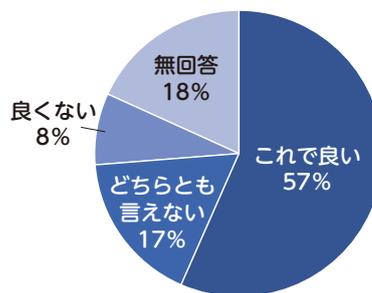
参加人数 24人

## ◎アンケート結果 (回答総数99人)

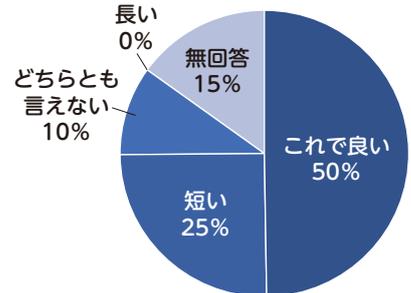
### 年代

- 18歳未満 … 5人
- 18・19歳 … 0人
- 20歳代 …… 2人
- 30歳代 …… 1人
- 40歳代 …… 19人
- 50歳代 …… 16人
- 60歳代 … 12人
- 70歳代 … 29人
- 80歳代 … 14人
- 90歳代 … 0人
- 無回答 … 1人

### テーマ



### 開催時間



### ご意見(抜粋)

- 皆さん熱心で少し時間が足りなかった。
- 直接議員に意見を伝えることができる良い機会だと思う。
- 一人一人の発言時間が長く、意見交換まで深められなかった。
- 市民の関心の高いテーマでよかったと思う。

※詳しいアンケート結果は、市議会ホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧ください。  
また、当日の会議録は、後日市議会ホームページに掲載いたします。

多くの市民の皆様、また意見発表の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきましたご意見をもとに、今後も議論を重ねてまいります。

## 議会をご覧ください

### 本会議の傍聴について

議会棟4階の傍聴席入り口で、住所、氏名を受付票にご記入いただき、受付箱に投函の上、資料を取って議場傍聴席にお入りください。

### 委員会等の傍聴について

当日、議会事務局で傍聴申込書に住所、氏名、傍聴を希望する案件名を記入して委員長・議長に申し込みをしてください。委員長・議長は原則として許可し、「傍聴許可証」を交付します。開会予定時刻の30分前で定員(第1・第2委員会室は10人、第3委員会室は20人)を超える場合は抽選、超えない場合は先着順となります。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
(電話：0774-20-8747)

## 議会の動画 配信中

宇治市議会では、本会議や常任委員会等をインターネットで動画配信しております。生中継や録画配信は、市議会ホームページの「議会中継」をご覧ください。



生中継



録画

上の二次元コードを読み取ることで宇治市議会YouTubeのリンク先にアクセスできます。

## ホームページからの閲覧方法

議会での活発な議論が  
リアルタイムでご覧いただけます!

市議会ホームページからは以下の方法でアクセスできます。



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のバナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

※宇治市議会トップページ最下部の公開用スケジュールからもアクセスできます。

アンケート  
はこちら



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください



## 次回定例会のお知らせ 9月18日~10月16日 開催予定

### 令和6年9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 議会運営委員会	12	13	14
15	16	17 議会運営委員会 請願提出締切	18 本会議 (開会提案説明等)	19	20 議会運営委員会 本会議 全員協議会	21
22	23	24	25	26 本会議(一般質問)	27	28
29	30 本会議 (一般質問)					

### 令和6年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1 予備日	2 常任委員会	3 常任委員会	4	5
6	7 常任委員会	8	9	10	11	12
13	14	15 議会運営委員会	16 本会議 (閉会)	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

最新の情報は市議会ホームページにてご確認ください。